



どんな仕事をしているの？ —日高町内職場見学—

6月から7月にかけて、日高町内で小中学生による職場訪問が行われました。

6月21日(水)には、比井小学校(玉置雅巳校長)の2年生4人が比井郵便局を見学。

「郵便はどのような風に届けられるのですか」「郵便局の中はなっていますか」といった質問に局員が丁寧に答え、郵便局の仕事について学びました。

最後に可愛い絵はがきをお土産にもらい、児童らは大きな声でお礼を言って見学を終えました。

また、7月3日(月)には、日高中学校の1年生7人が役場を見学。

生徒たちは「どのような仕事をしていますか」「1日にどのくらい働いていますか」といった仕事の内容から、「どのような時に仕事のやりがいを感じますか」などを職員に質問し、その後庁舎内を見学。実際に職員が働いている光景や、町議会が開かれている議場を見て回りました。

生徒たちは「お話を聞いて、町のために沢山の人が働いていることを知りました。私もゴミが落ちていたら拾うなど、小さなことから始めたいと思います」と話してくれました。



日高中学校



比井小学校



不戦の誓い新たに —日高町戦没者追悼法要—

6月23日(金)、町中央公民館において、町社会福祉協議会主催による日高町戦没者追悼法要が執り行われました。

法要には、遺族関係者を始め、松本町長、清水町議会議長らが参列し、戦没者400余柱の冥福を祈りました。

町社会福祉協議会の寺井陽子会長が「日高町は戦後が嘘の様に変化しています。諸霊及びご遺族の方々が、多くの苦しみへ耐え平和の為に尽力されたことに心から敬意を表し、世界中で一切の戦争が無くなる日が、1日でも早く来てくれる事を願っています」と追悼の言葉を述べられると、松本町長も、「今日の平和と繁栄は皆様のおかげです。私たちも、ふるさとへの愛情を語り継ぎ、未来への使命を果たしていきます」と、戦没者、遺族の方々への感謝と誓いを述べました。

高校生が役場の仕事を体験 —インターンシップ—

6月15日(木)と16日(金)の2日間、紀央館高校(兒玉佳世子校長)の生徒がインターンシップで役場を訪れ、仕事を体験しました。

役場でのインターンシップに来てくれたのは、森本涼河くん(2年生)、井上直也くん(2年生)の2人で、初日は役場庁舎内を見学すると、防災対策の仕事を体験。災害時における避難所の開設、水害を防ぐための土のう作りや水中ポンプ操作を行いました。

2日目には住民福祉の仕事を体験し、高齢者の外出支援であるタクシー券を取り扱ったり、道路で死んでしまった野生動物の回収などを行い、インターンシップは終了。

2人は「役場ではどういう仕事をしているのか知りたくて、インターンシップを希望しました。想像していたよりも沢山の仕事があって驚きましたが、やりがいがあって面白かったです。将来は役場の仕事をしたいと思います」と、充実した2日間だったと話してくれました。

